



MSD42-58001/2/3/4

イルミルーフスポイラー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ イルミルーフスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
 本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	メッキ色	適合車種	年式	備考
MSD42-58001-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	シルバーメッキ	アルファード / ヴェルファイア	'23.5~	
MSD42-58001-C0	ブラック(202)				
MSD42-58002-NP	未塗装品				
MSD42-58003-A0	プラチナホワイトパールマイカ(089)	スモークメッキ			
MSD42-58003-C0	ブラック(202)				
MSD42-58004-NP	未塗装品				

- ・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>
- ・ラゲージ LED (MSE65-V2001) を同時装着する場合は、本製品を先に取り付けてください。

■ 構成部品

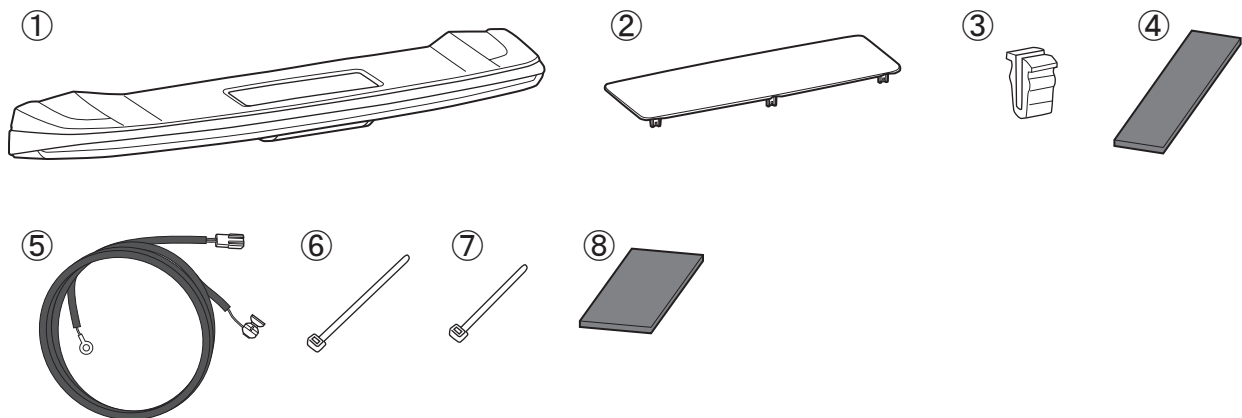
No.	品名	品番	個数	備考
①	イルミルーフスポイラー		1	
②	カバー		1	
③	クリップA		3	
④	不織布テープ		2	20×60
⑤	電源ハーネス		1	
⑥	結束バンド 大		19	150mm
⑦	結束バンド 小		1	90mm
⑧	クッション		2	50×100

以下、MSD42-58002/4-NP（未塗装品セット）のみに同梱

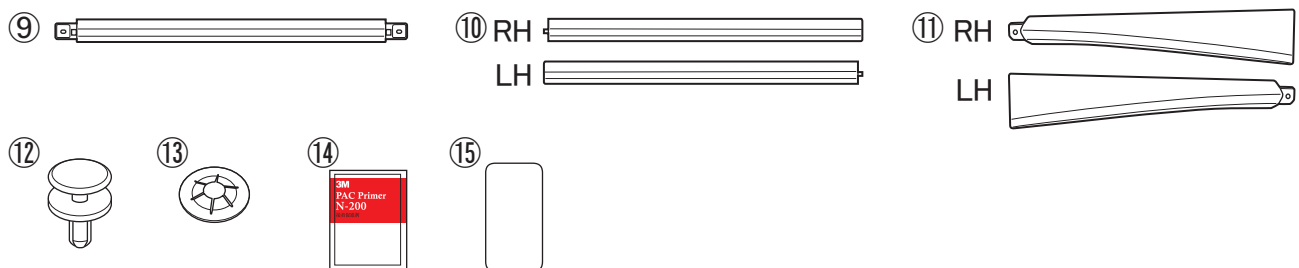
No.	品名	品番	個数	備考
⑨	メッキパーツA		1	
⑩	メッキパーツB (RH/LH)		各1	
⑪	メッキパーツC (RH/LH)		各1	
⑫	クリップB		4	
⑬	プッシュナット		2	
⑭	PAC プライマー		1	N-200相当
⑮	シム		1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD42-58002/4-NP（未塗装品セット）のみに同梱



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ⊘❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⊘ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⊘ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⊘ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

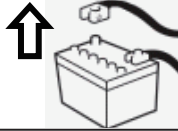
- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので60℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

イルミルーフスポイラー配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



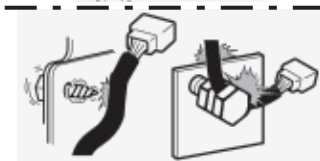
取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをははずす。

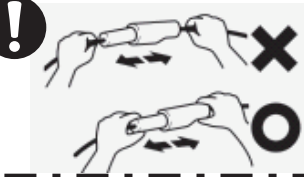


部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

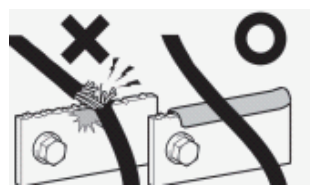


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

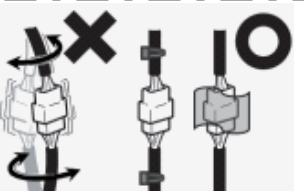
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意



エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取り付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ 注意



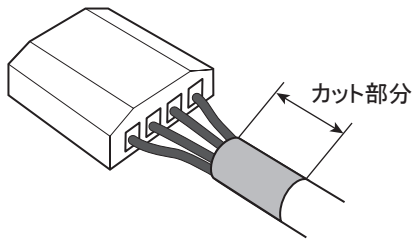
バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ エレクトロタップの接続方法

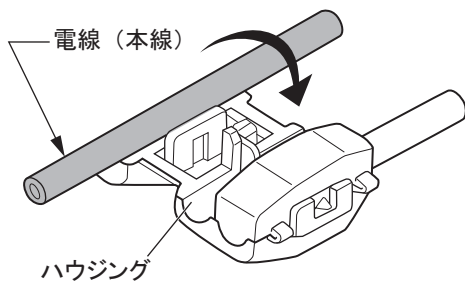
【使用上の注意】

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷つけないように十分注意してください。
- (2) 他の用品コネクタと重ならないように車両ハーネスに接続してください。
- (3) 本書巻末の配線図を参考に接続するコネクタの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないように十分注意してください。
- (4) 同一コネクタに複数のハウジングを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (5) 一度使用したハウジングは再使用しないでください。誤って接続した場合、ハウジングを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

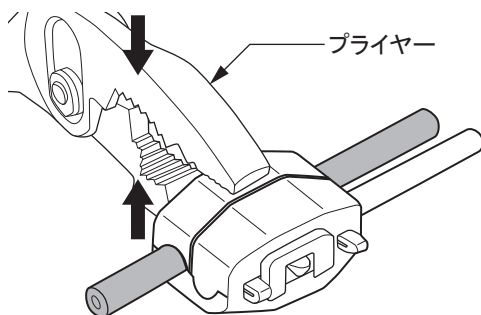
接続手順



- ① 接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープおよびコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。

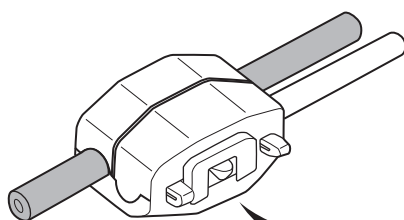


- ② 電線をハウジングにまっすぐおき、矢印の方向にたため重ねてください。

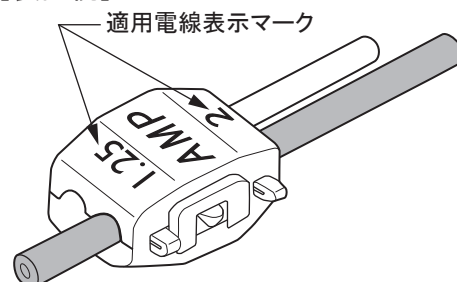


- ③ プライヤーで左図のように挟んでハウジングの電線が収まることを確認しながらハウジング同士が接触するまで挟み込んでください。
- ④ ロッキングが完全に働いていることを確認してプライヤーを外してください。

【電線接続完了図】



【裏面視】



■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 3
3. イルミルーフスポイラー配線取り付け上の注意事項 4
4. エレクトロタップの接続方法 5
5. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 6
6. 取付準備、取付要領 7～16
7. 取付完了後の点検・注意事項 16
8. 未塗装品の取り扱いについて 17～21
9. 配線図 22

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ニッパー・切断工具
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・保護メガネ・マスキングテープ・ビニールテープ（耐熱）
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

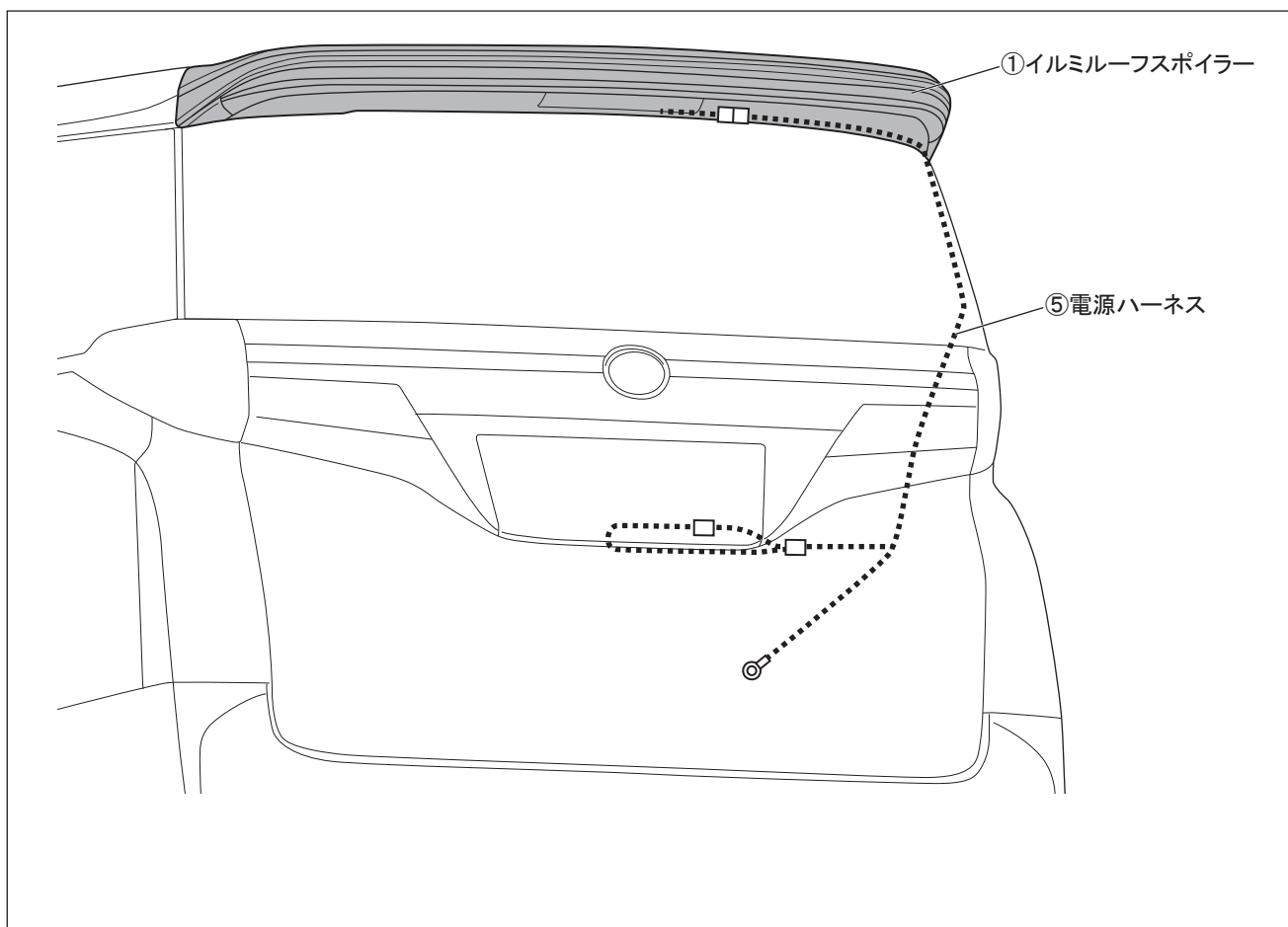
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



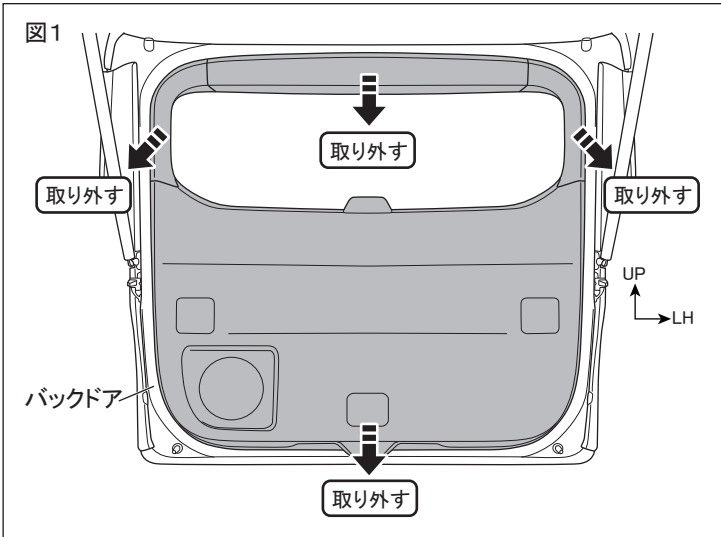
■ 取付準備、取付要領

□ イルミルーフスポイラー取付準備

【配線作業 -1】

1. バックドアを開けた状態でバッテリーのマイナス端子を取り外す。

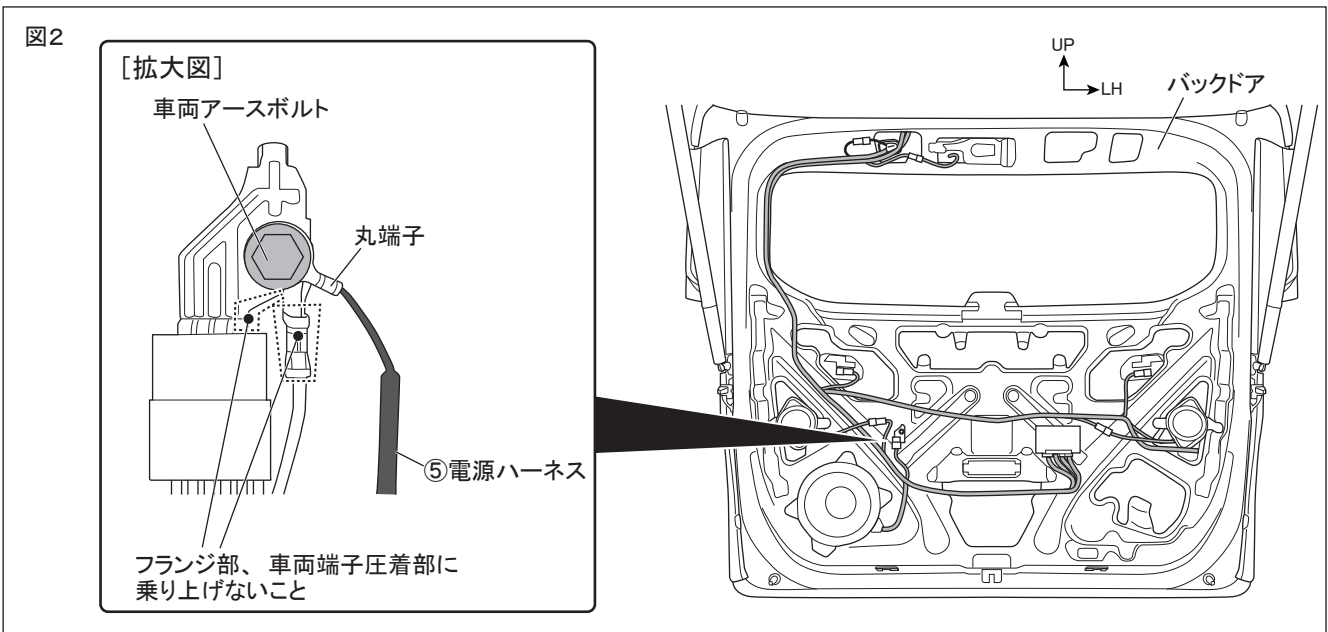
△注意：バックドアがロックしないようにストライカーに布等を巻いてください。



2. 図1のように該当車両の修理書に従い、バックドアからトリムカバーを取り外す。(4箇所)

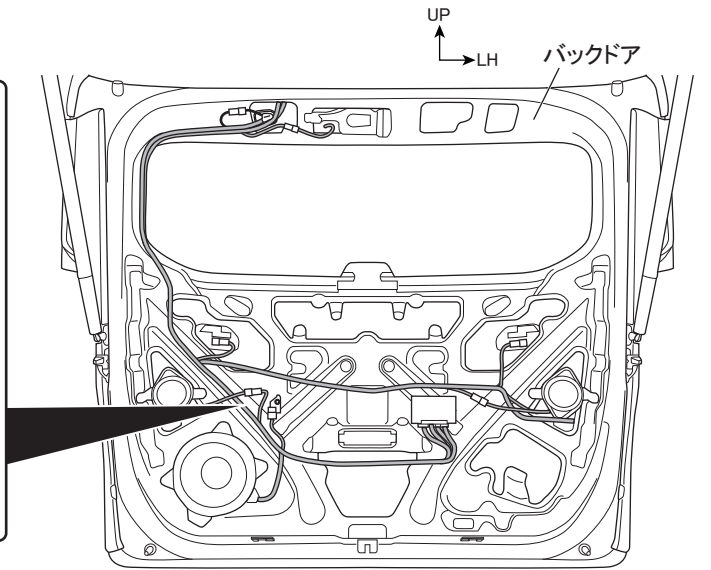
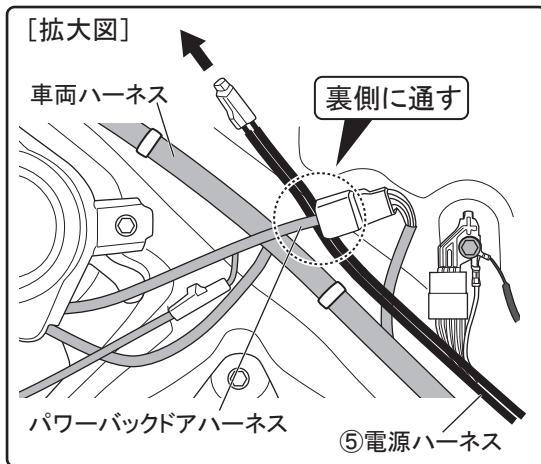
△注意：取り外した車両部品、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

3. 図2のように車両バックドアのアースボルトに⑤電源ハーネスの丸型端子を共締めし、該当車両の修理書に従い、指定トルクで本締めする。(車両アースボルト締め付けトルク参考値：10.0N・m)



4. 図3のように⑤電源ハーネスを車両パワーバックドアハーネスの裏側に通す。

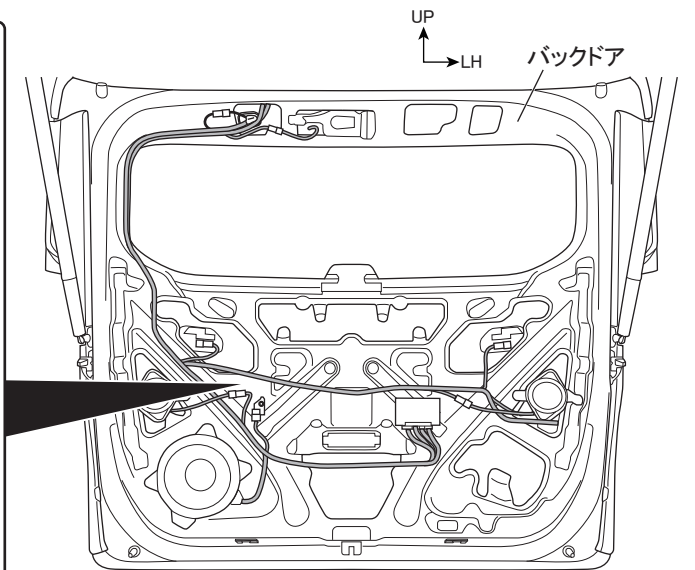
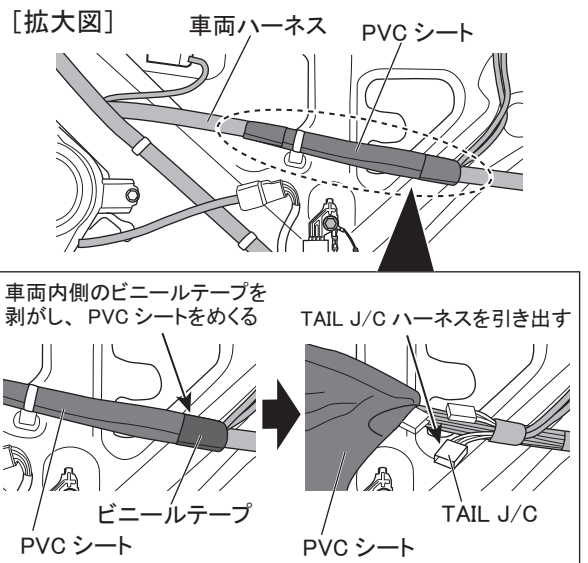
図3



△注意：車両グレード、オプション有無により該当の車両ハーネスが無い場合があります。

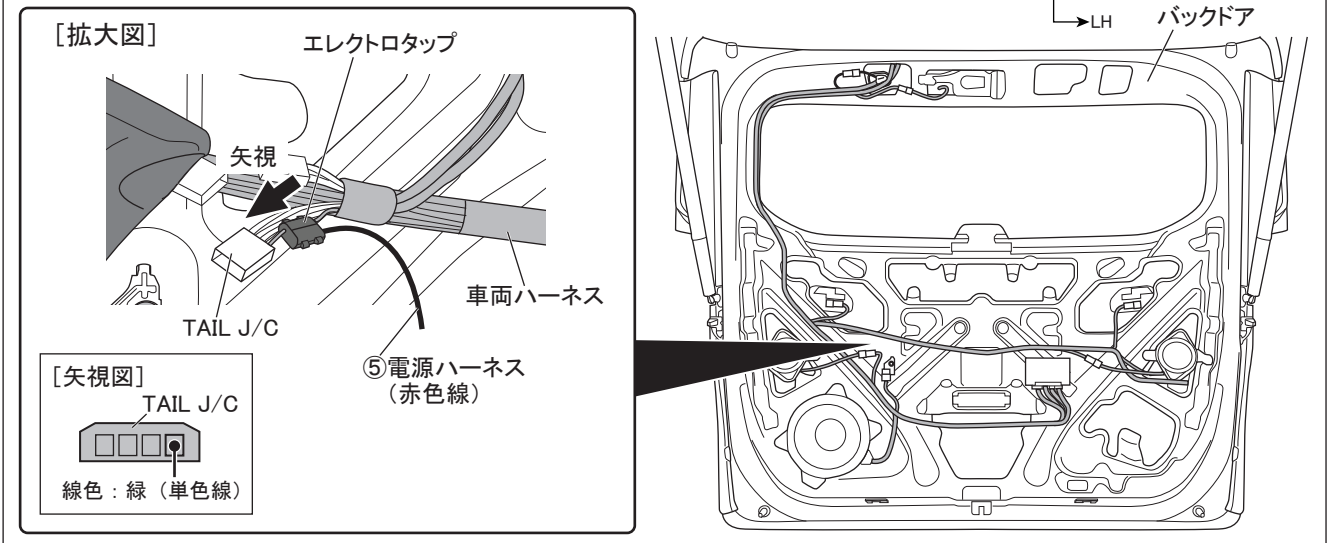
5. 図4のようにPVCシートをめくり、バックドア TAIL J/C に繋がる車両ハーネスを引き出す。(1箇所)

図4



6. 図5のように作業 5. で引き出した TAIL J/C に繋がる車両ハーネスに⑤電源ハーネスのエレクトロタップを取り付ける。(1箇所)

図5



△注意：周辺に J/C 数は4個あるので線色を確認し、間違えないように作業実施してください。

【点灯確認】

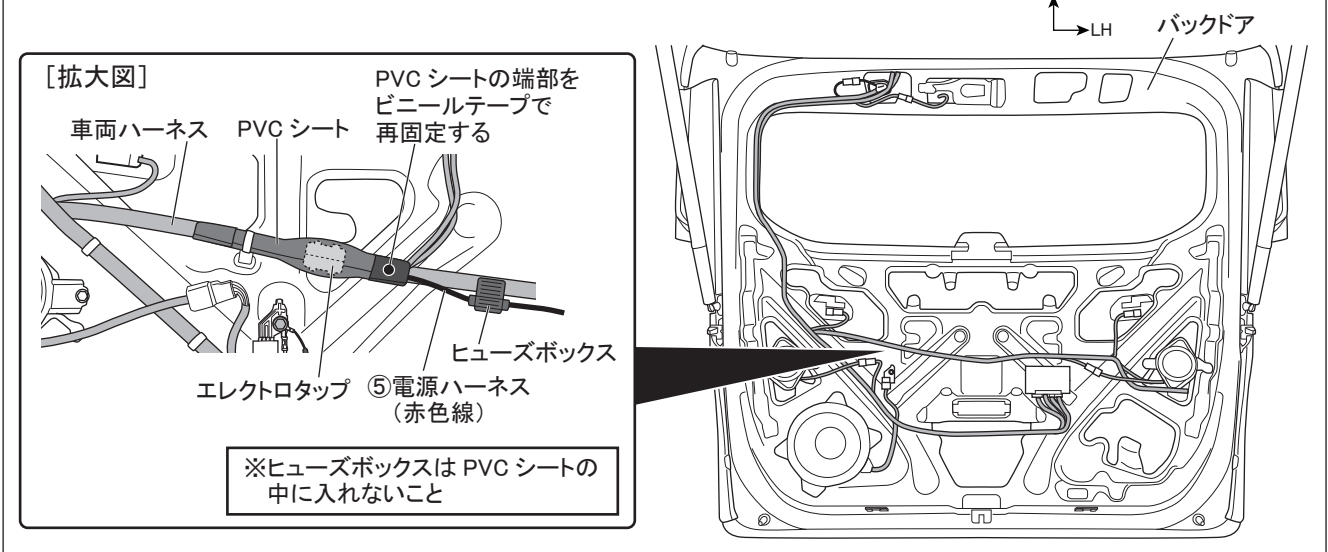
- ⑤電源ハーネスの 2P コネクターと①イルミルーフスポイラーの 2P コネクターを接続する。
- バッテリーのマイナス端子を取り付け、車両クリアランスランプを ON の状態にして①イルミルーフスポイラーの点灯確認を行う。
点灯確認後、バッテリーのマイナス端子を外す。
- ⑤電源ハーネスの 2P コネクターと①イルミルーフスポイラーの 2P コネクターを取り外す。

△注意：点灯確認の際に車体および①イルミルーフスポイラーを傷つけないようにしてください。

【配線作業 -2】

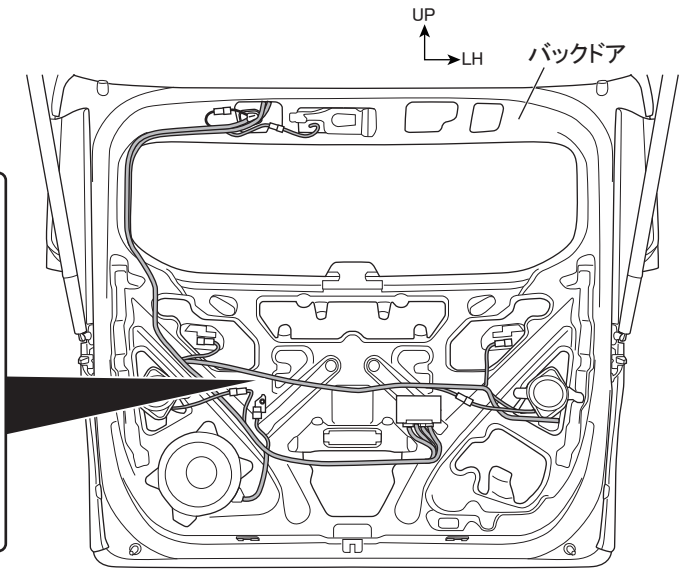
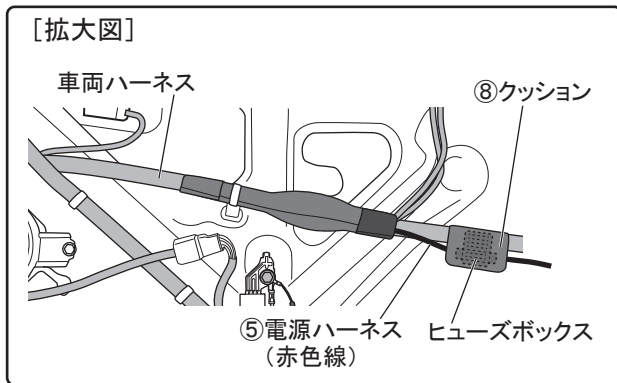
- 図6のように【配線作業 -1】の作業 6. で⑤電源ハーネスのエレクトロタップを取り付けた TAIL J/C に繋がる車両ハーネスを PVC シートの中に戻し、端部をビニールテープで再固定する。(1箇所)

図6



2. 図7のように⑤電源ハーネスのヒューズボックスに⑧クッションを巻き付ける。(1箇所)

図7

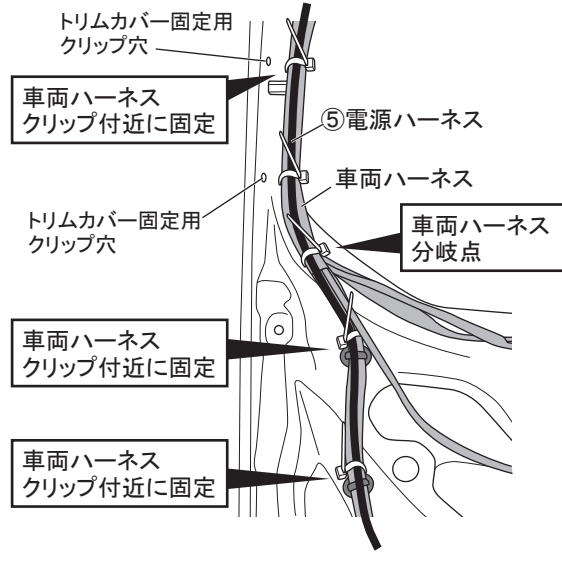


3. 図8のようにバックドアに⑤電源ハーネスを配策し、⑥結束バンド 大で仮固定する。(16箇所)

図8

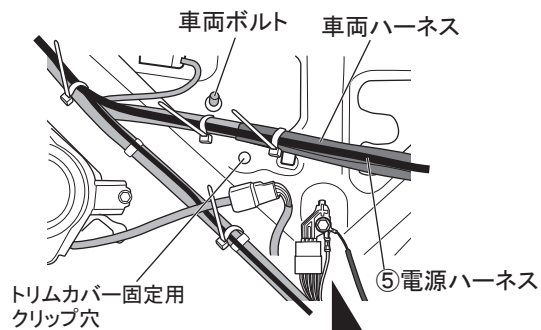
section B

トリムカバー、トリムカバー固定用クリップに干渉しないよう、⑤電源ハーネスが車両ハーネスよりも車両前側になるよう配策する。

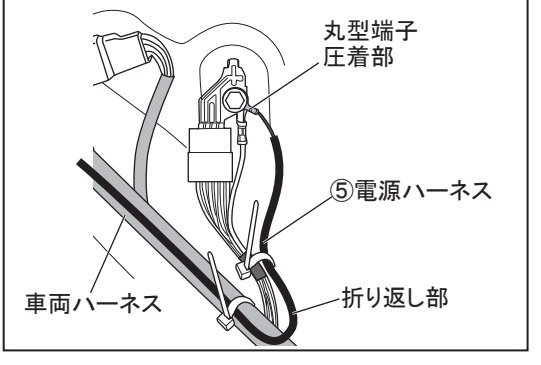


section C

⑤電源ハーネスが車両ボルト、トリムカバー固定用クリップに干渉しないよう、⑤電源ハーネスが車両ハーネスよりも車両前側になるよう配策する。

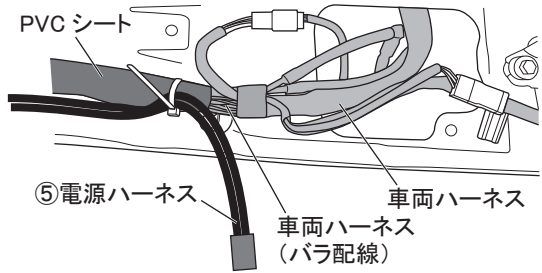


⑤電源ハーネスの丸型端子圧着部にテンションが掛からないように配策する。



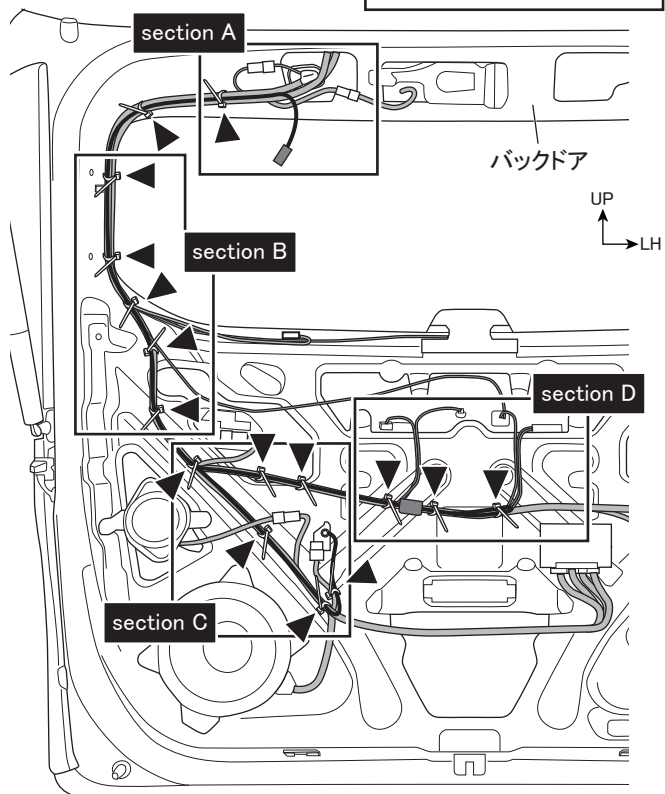
section A

車両ハーネスの PVC シート上 (パラ配線手前) で仮固定する



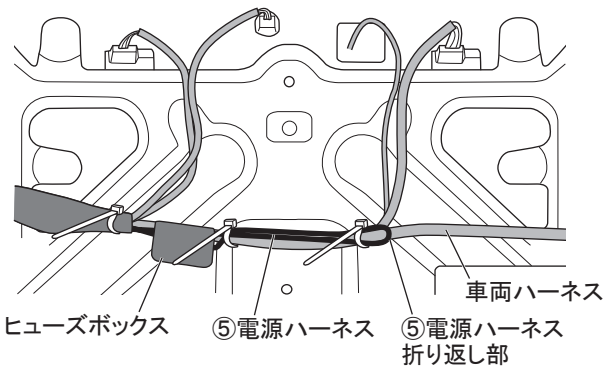
⑥結束バンド : 16箇所 (▲)

⑤電源ハーネス (Power harness)
⑥車両ハーネス (Vehicle harness)



section D

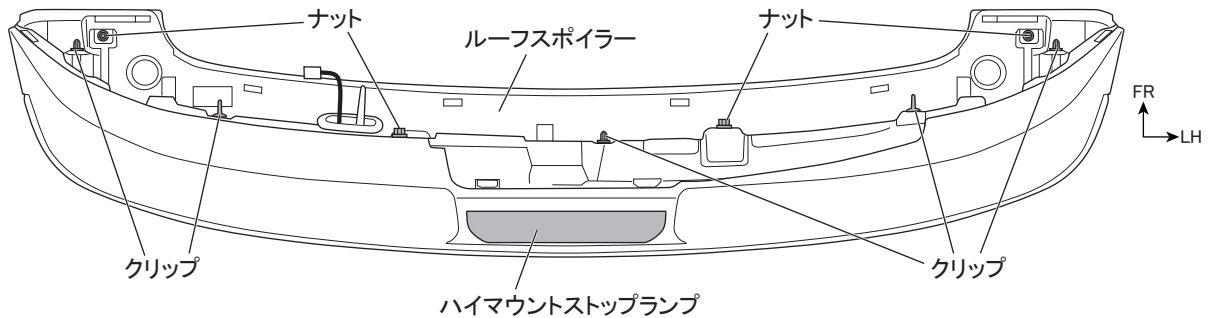
⑤電源ハーネスを折り返し、折り返したハーネスを2本にまとめて⑥結束バンド 大で仮締めする。



【車両部品の取り外しと移設作業】

1. 該当車両の修理書に従い、バックドアから車両ルーフスポイラーを取り外す。
2. 図9のように該当車両の修理書に従い、車両ルーフスポイラーからハイマウントストップランプ、クリップ（5箇所）、ナット（4箇所）を取り外す。

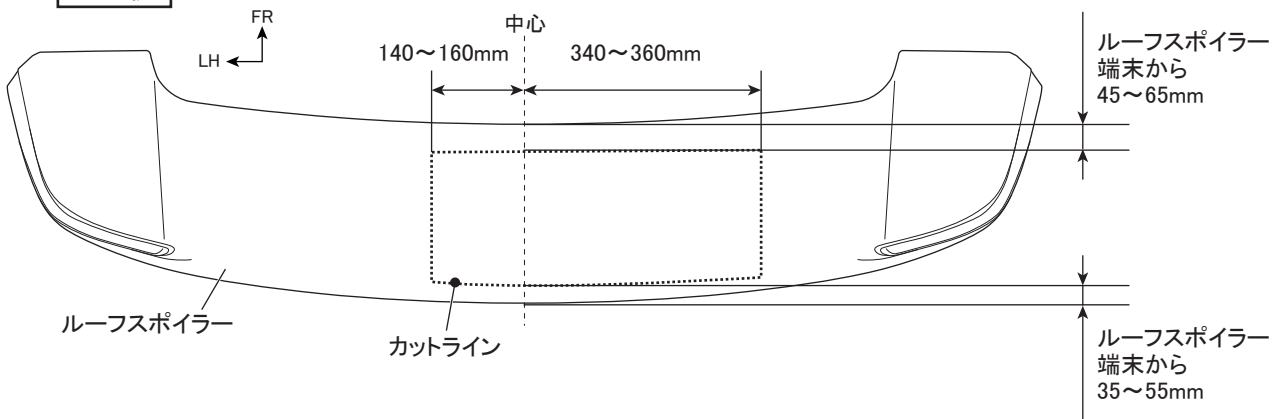
図9 下面視



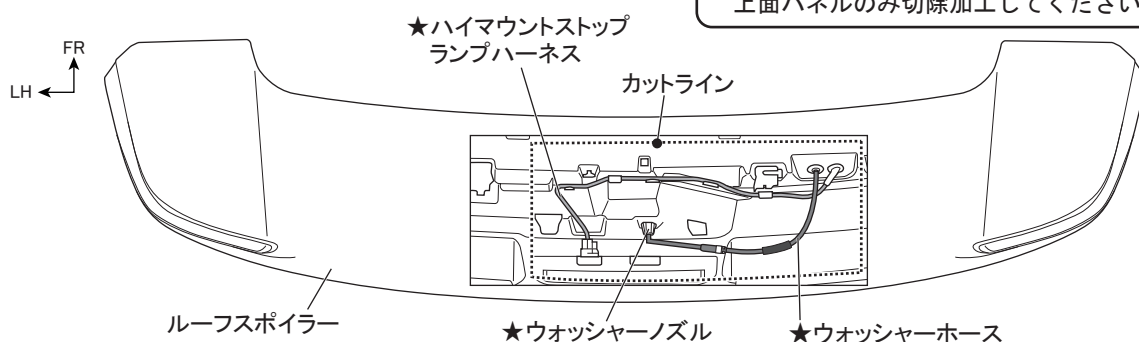
△注意：取り外したハイマウントストップランプ、車両クリップ、車両ナットは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

3. 図10のように破線部で車両ルーフスポイラー上面を切断する。

図10 上面視



【ルーフスポイラー内部構造】

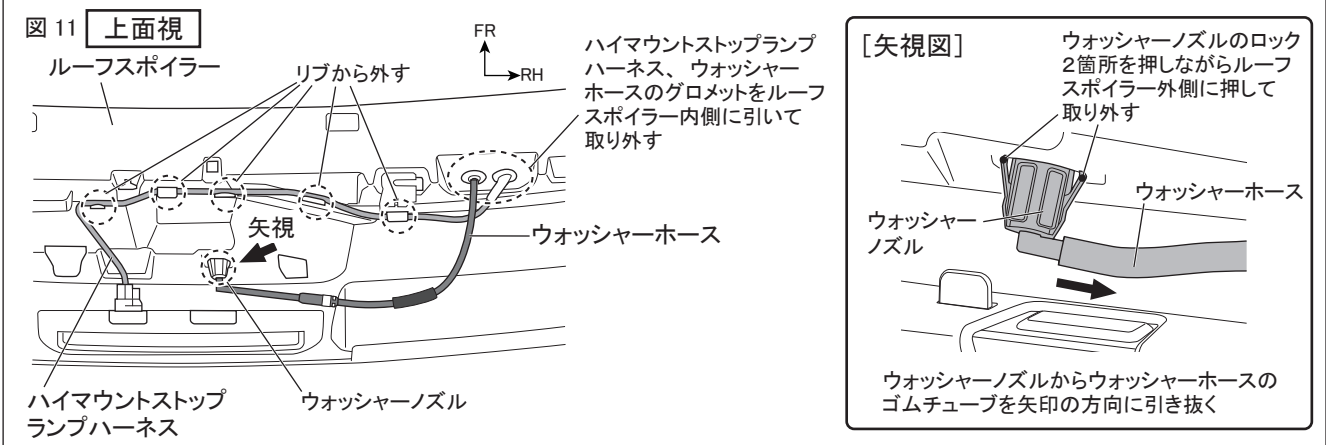


※ルーフスポイラーは中空構造になっています。上面パネルのみ切除加工してください。

△注意：破線部より内側で切断すると移設部品（図中★マーク）を破損させるおそれがあるため、必ず破線部より外側で切断してください。

👉 アドバイス：超音波カッターを使用すると作業性が向上します。

4. 図 11 のように【車両部品の取り外しと移設作業】作業 3. で切断した車両ルーフスポイラーからハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホース、ウォッシャーノズルを取り外す。

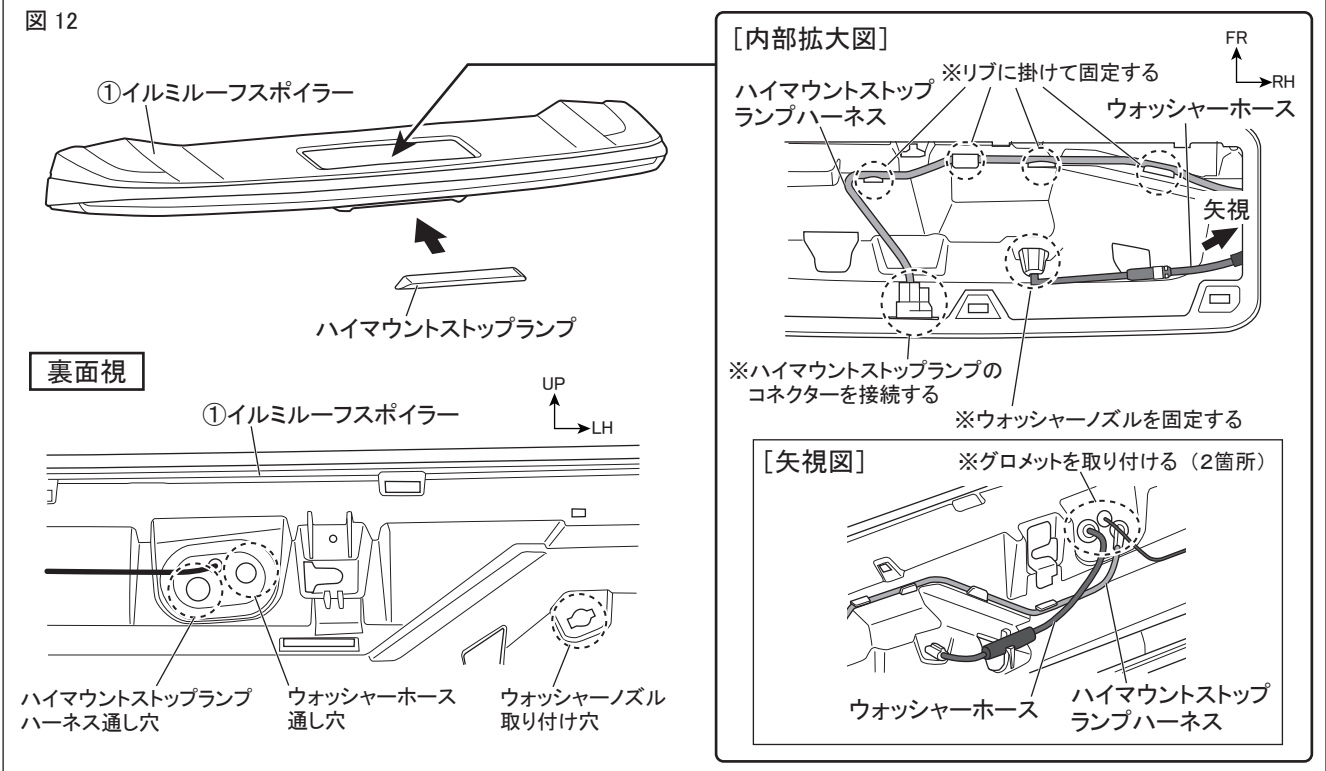


△注意：取り外したハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホース、ウォッシャーノズルは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意：ハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホースは無理に引っ張ると断線、破損するおそれがあるため、慎重に取り外してください。

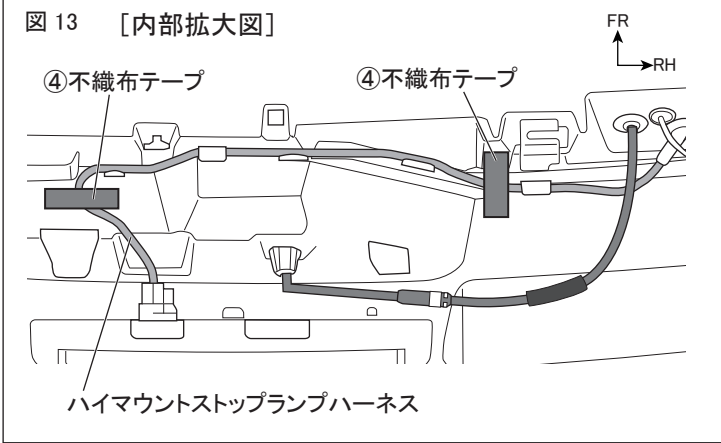
△注意：切断した車両ルーフスポイラーは再使用しません。

5. 図 12 のように作業 2. 4. で取り外したハイマウントストップランプ、ウォッシャーノズルを①イルミルーフスポイラーに移設し、ハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホースを配策する。



△注意：図の※印の箇所は純正ルーフスポイラーと同じ位置、固定方法で取り付けてください。

図 13 [内部拡大図]



6. 図 13 のように④不織布テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂し、①イルミルーフスポイラー内部に配策したハイマウントストップランプハーネスを④不織布テープで固定する。(2箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

7. 取り外したクリップ (5箇所)、ナット (4箇所) を純正ルーフスポイラーと同じ位置に移設する。

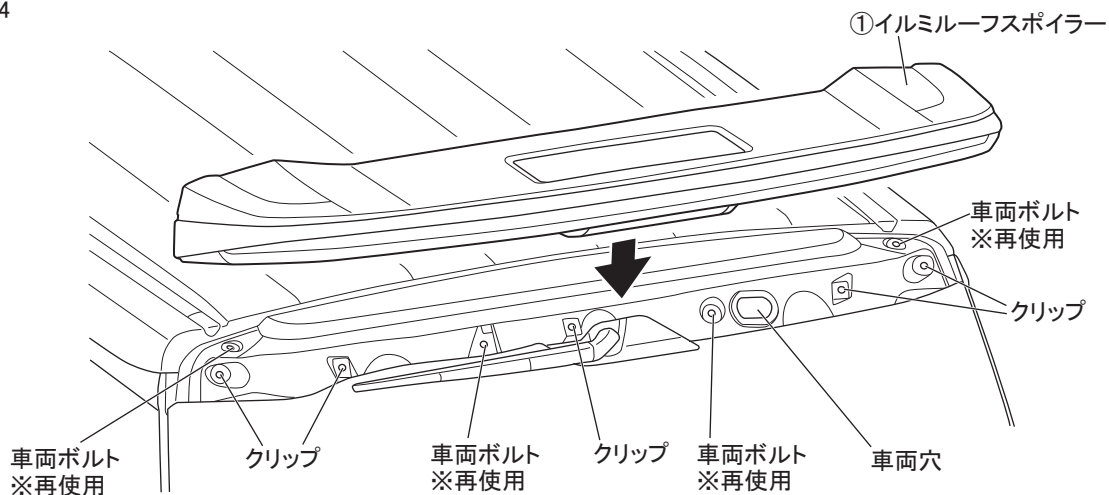
△注意：②カバーは取り付けないでください。

②カバーの取り付けは、①イルミルーフスポイラーを車両に取り付け、ハイマウントストップランプの点灯および、ウインドウウォッシャーの動作確認後に行います。

□イルミルーフスポイラー取付要領

1. 図 14 のように車両穴にハイマウントストップランプハーネス、ウォッシャーホース、①イルミルーフスポイラーの LED ハーネスを通しながら①イルミルーフスポイラーをバックドアに於て、クリップ (5箇所) を嵌合させる。クリップが確実にハマっていること確認し、バックドア内側から車両ボルトを取り付けて該当車両の修理書に従い、指定トルクで本締めする。(4箇所)
 その際、車両ルーフスポイラーを取り付けていたボルトの締め痕が目立つ場合は、タッチアップを施行する。(車両ボルト締め付けトルク参考値：6.ON・m)

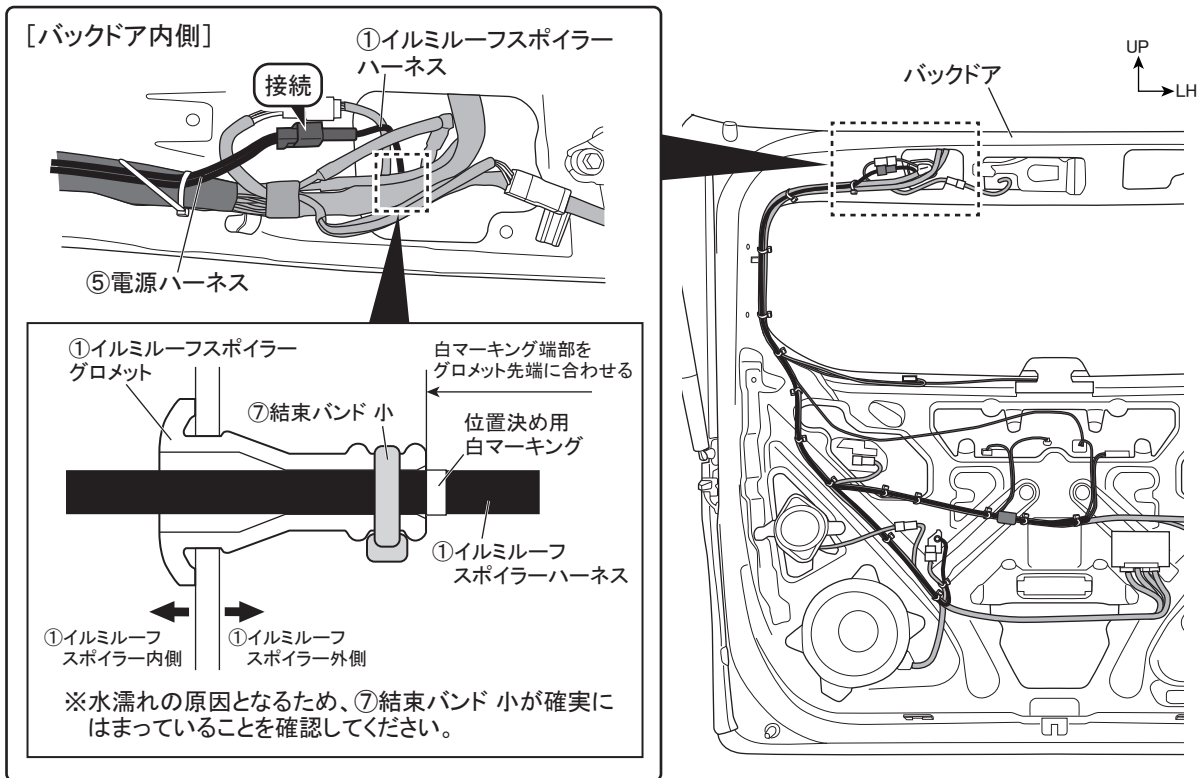
図 14



2. 該当車両の修理書に従い、バックドア内側から①イルミルーフスポイラーに移設したハイマウントストップランプハーネスのコネクター、ウォッシャーホースを接続する。

3. 図 15 のように①イルミルーフスポイラーの 2P コネクターと⑤電源ハーネスの 2P コネクターを接続する。
 ①イルミルーフスポイラーのハーネスの白マーキング部分がグロメット先端に合うように余長調整し、⑦結束バンド小で結束バンドを締め付ける。(1箇所)

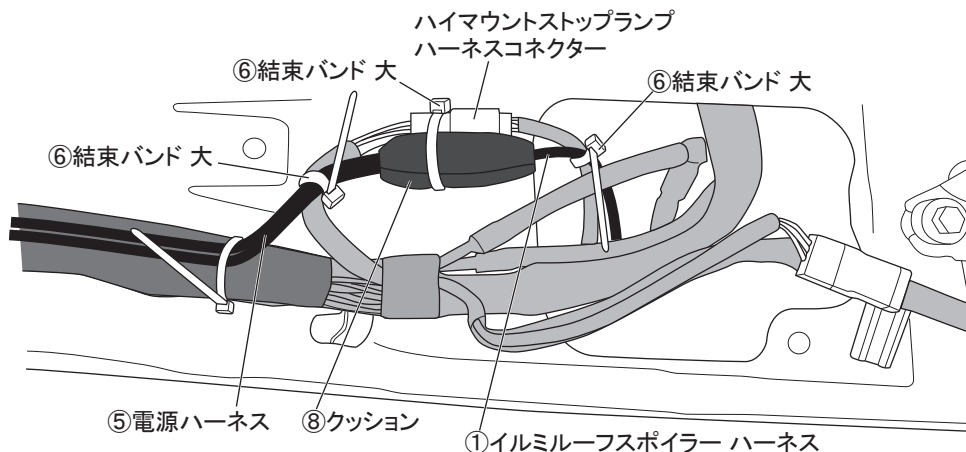
図 15



△注意：余長調整の際にコネクターを引っ張らないでください。

4. バッテリーのマイナス端子を接続してエンジンを始動し、クリアランスランプを ON にして①イルミルーフスポイラー、ハイマウントストップランプの点灯確認および、ウインドウウォッシャーの動作確認を行う。
5. 図 16 のように①イルミルーフスポイラーのコネクター接続部に⑧クッションを巻き付けて (1箇所)、ハイマウントストップランプのハーネスコネクターに⑥結束バンド大で固定する。(3箇所)

図 16

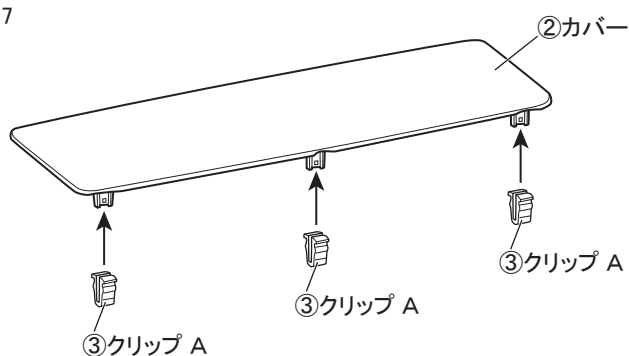


6. バックドア内側に配策した⑤電源ハーネスの余長を調整し、11 ページ【配策作業 -2】作業 3. で仮固定した⑥結束バンド大を本締めする。(16箇所)

△注意：トリムカバー固定用クリップ穴にハーネスが被らないように⑥結束バンド大を本締めし、バンド余長分はカットしてください。

7. 該当車両の修理書に従い、バックドアのトリムカバーを復元する。(4箇所)

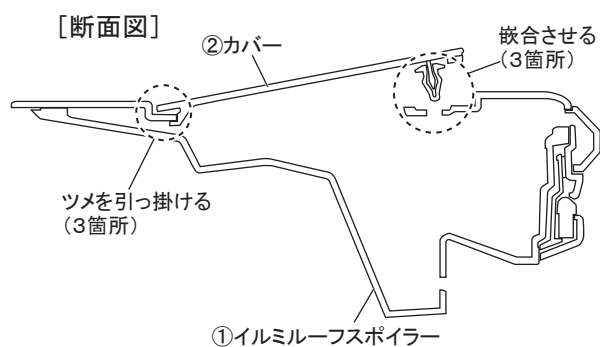
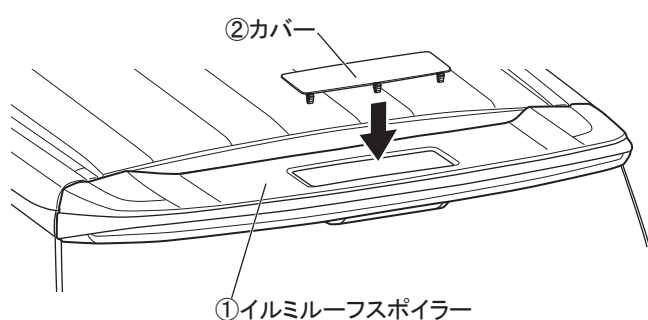
図 17



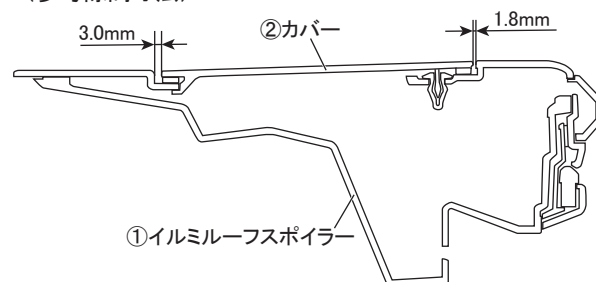
8. 図 17 のように②カバー下面のツメに③クリップ A を取り付ける。(3箇所)

9. 図 18 のように①イルミルーフスポイラーに②カバーを取り付ける。(1箇所)

図 18



(参考隙間寸法)



■ イルミルーフスポイラー取り付け後の確認・注意事項

- ・ ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
- ・ クリアランスランプ ON の状態にしてランプの点灯確認を行う。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びイルミルーフスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。
(車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照)

重要！！

分解・脱着した部位以外にも周辺部位に触れて、ラジエータキャップの緩みや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず、確認を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MSD42-58002/4-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

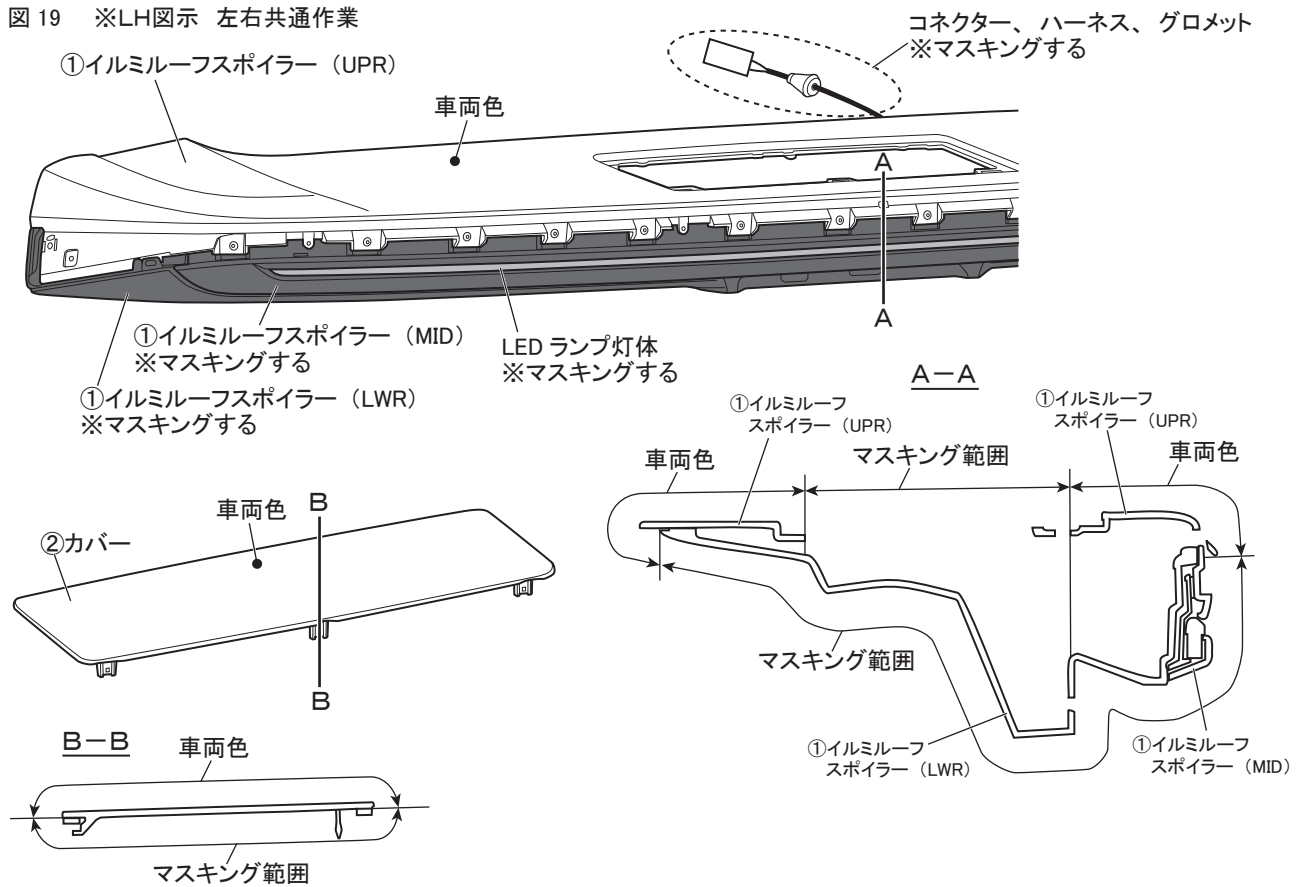
△注意：プライマーは非導電性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ イルミルーフスポイラーの塗装

1. 図 19 のように①イルミルーフスポイラー（UPR）、②カバーを車両色で塗装する。
※①イルミルーフスポイラー下方の黒色塗装部分（MID、LWR）、LED ランプ灯体、コネクター、ハーネス、グロメットを確実にマスキングしてください。

図 19 ※LH図示 左右共通作業

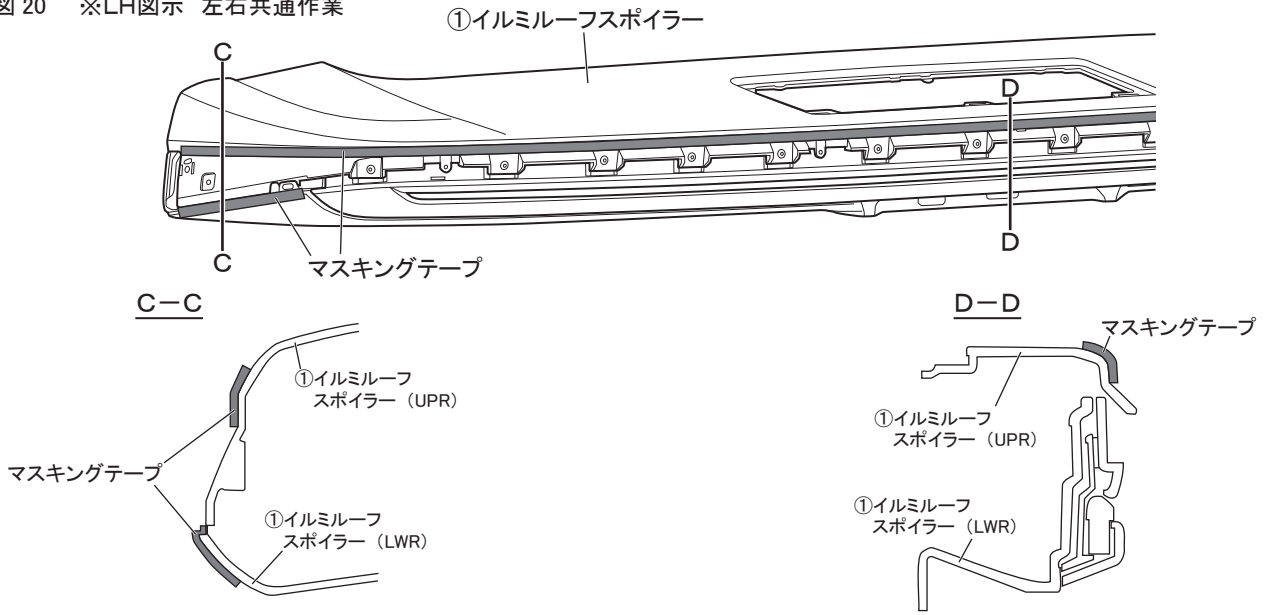


△注意：本製品は〈ABS〉です。乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。上塗り用の塗装にはウレタン系をご使用ください。

□ メッキパーツの取付要領

1. 図 20 のように①イルミルーフスポイラーにマスキングテープを貼り付ける。

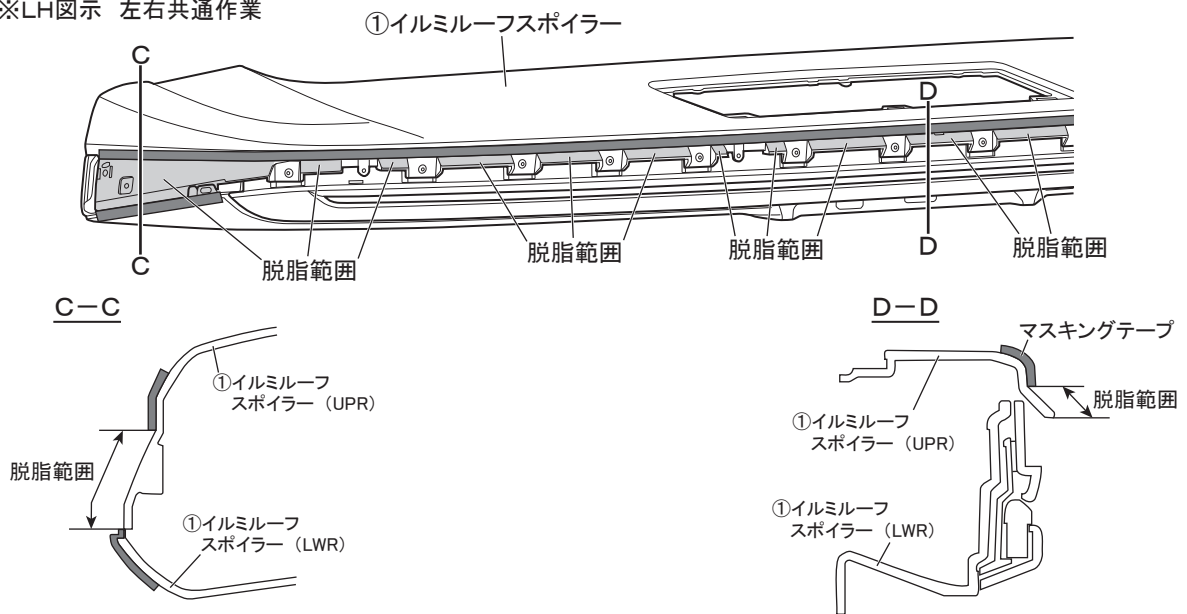
図 20 ※LH図示 左右共通作業



△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

2. 図 21 のように⑨メッキパーツA、⑩メッキパーツB、⑪メッキパーツCの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

図 21 ※LH図示 左右共通作業



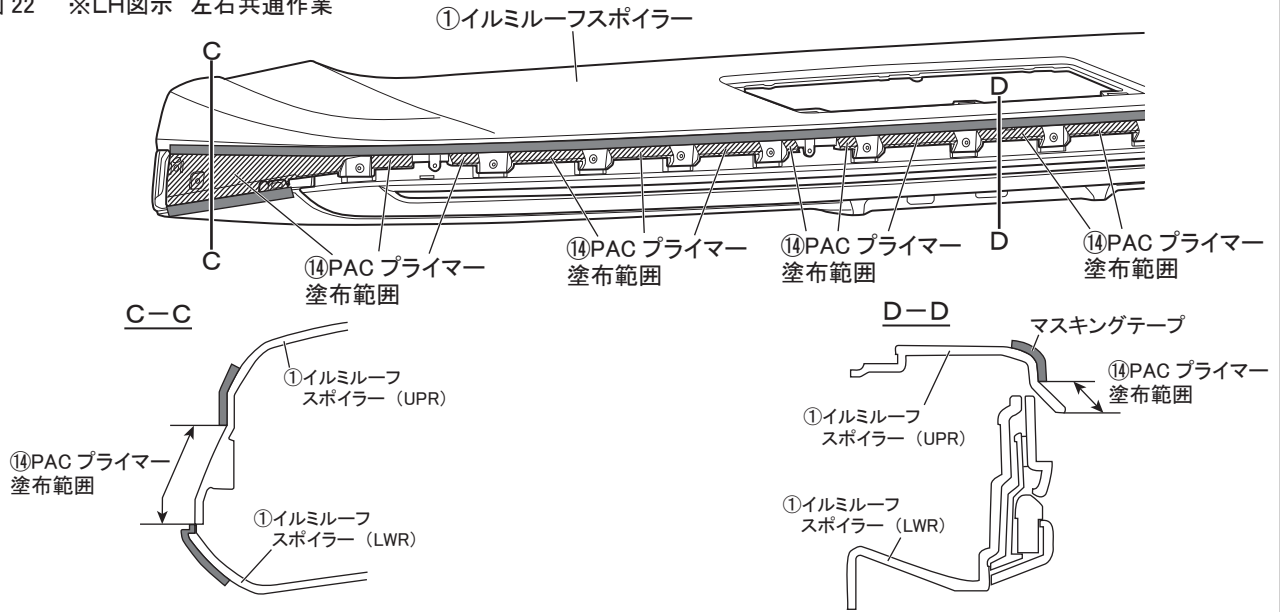
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

3. 図 22 のように⑨メッキパーツA、⑩メッキパーツB、⑪メッキパーツCの両面テープ貼り付け部（斜線部）に⑭PAC プライマーを塗布する。

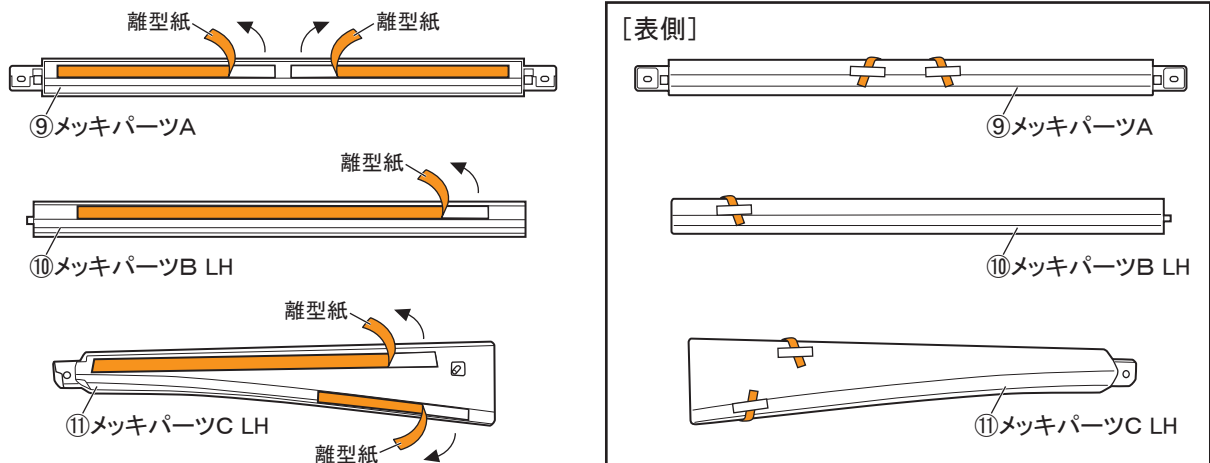
図 22 ※LH図示 左右共通作業



△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

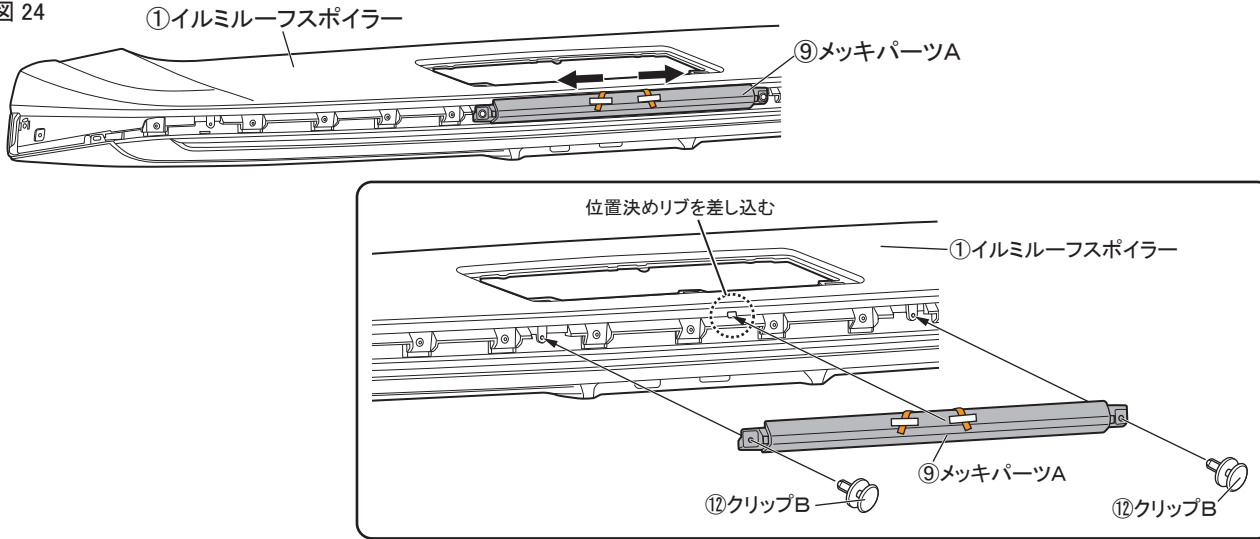
4. マスキングテープを剥がす。
5. 図 23 のように⑨メッキパーツA、⑩メッキパーツB、⑪メッキパーツCの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
 (⑨メッキパーツA: 左右各1箇所、⑩メッキパーツB: 左右各1箇所、⑪メッキパーツC: 左右各2箇所)

図 23 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 24 のように⑨メッキパーツAを①イルミーフスポイラーにあて、⑫クリップBを差し込み（左右各1箇所）、両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各1箇所）

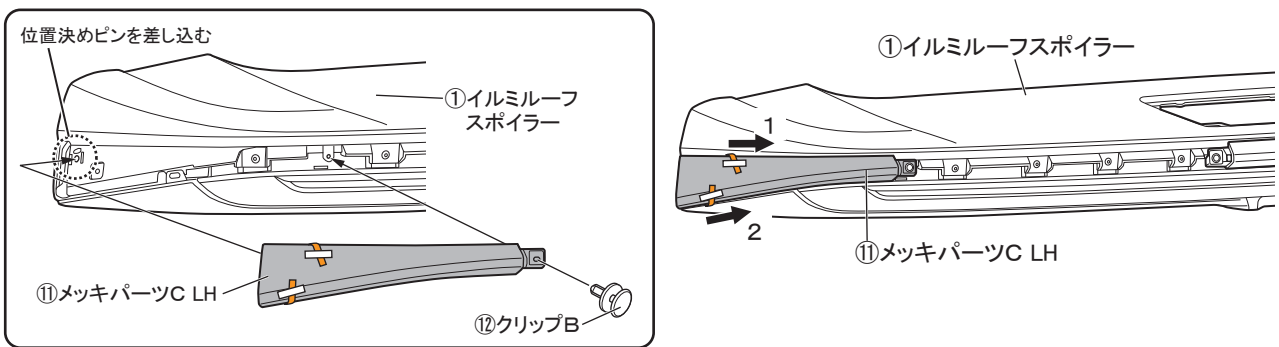
図 24



△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

7. 図 25 のように⑪メッキパーツCを①イルミーフスポイラーにあて、⑫クリップBを差し込み（左右各1箇所）、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各2箇所）

図 25 ※LH図示 左右共通作業

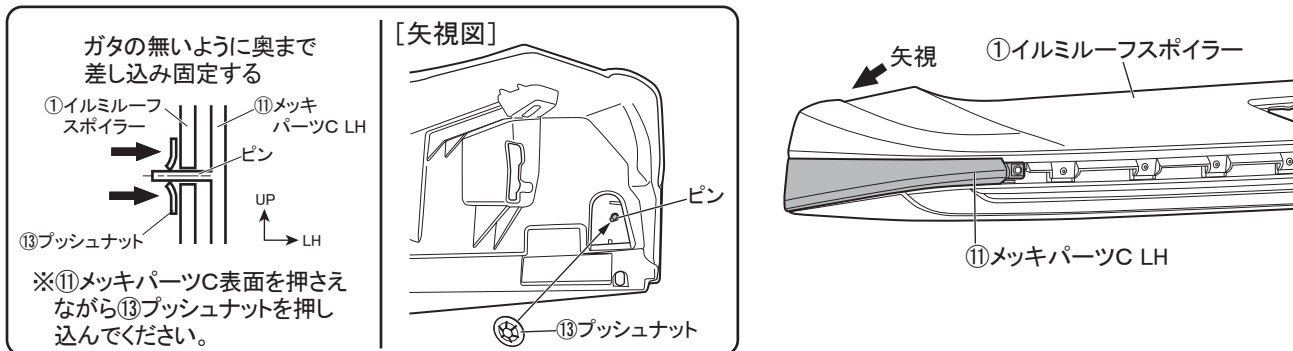


△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

8. 図 26 のように①イルミーフスポイラー裏側から⑪メッキパーツCのピンに⑬プッシュナットを取り付ける。（左右各1箇所）

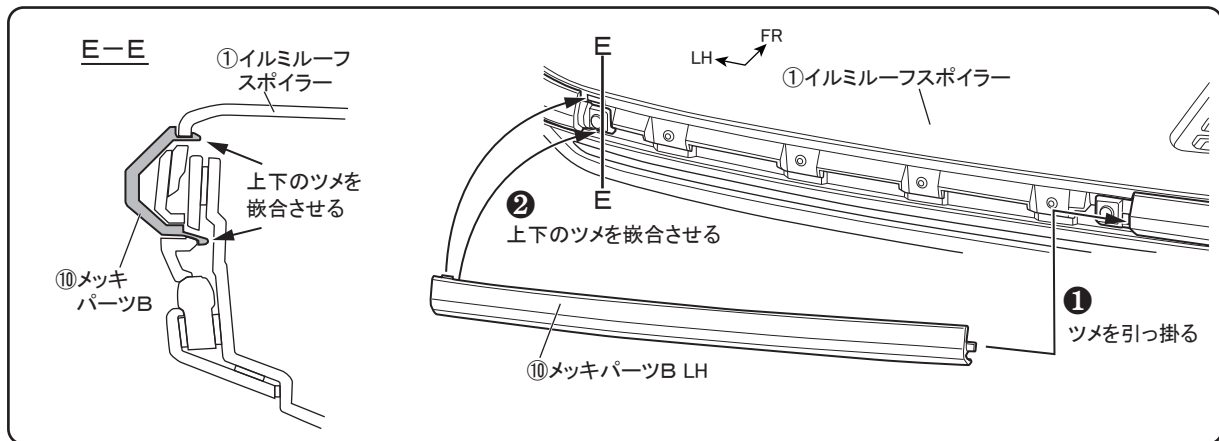
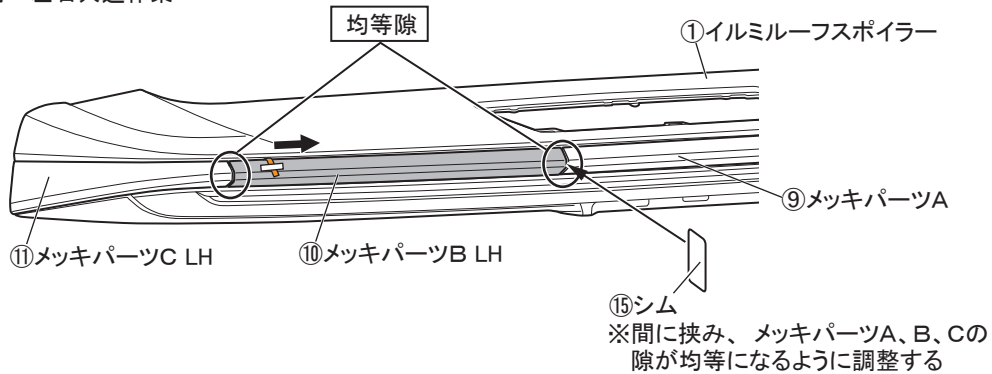
図 26 ※LH図示 左右共通作業



△注意：①イルミーフスポイラーと⑪メッキパーツCにガタが無いように⑬プッシュナットを奥まで押し込んでください。⑬プッシュナットが奥まで押し込まれていないと⑪メッキパーツCが浮く可能性があります。

9. 図 27 のように⑩メッキパーツBを①イルミルーフスポイラーにあて、⑨メッキパーツAと⑩メッキパーツBの間に⑮シムを挟み⑨メッキパーツA、⑩メッキパーツB、⑪メッキパーツCの隙が均等になるように位置を調整しながら、両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各1箇所)

図 27 ※LH図示 左右共通作業



△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

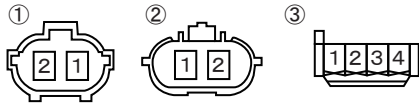
△注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

- 10.⑨メッキパーツA、⑩メッキパーツB、⑪メッキパーツCの両面テープ貼り付け部を再圧着する。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

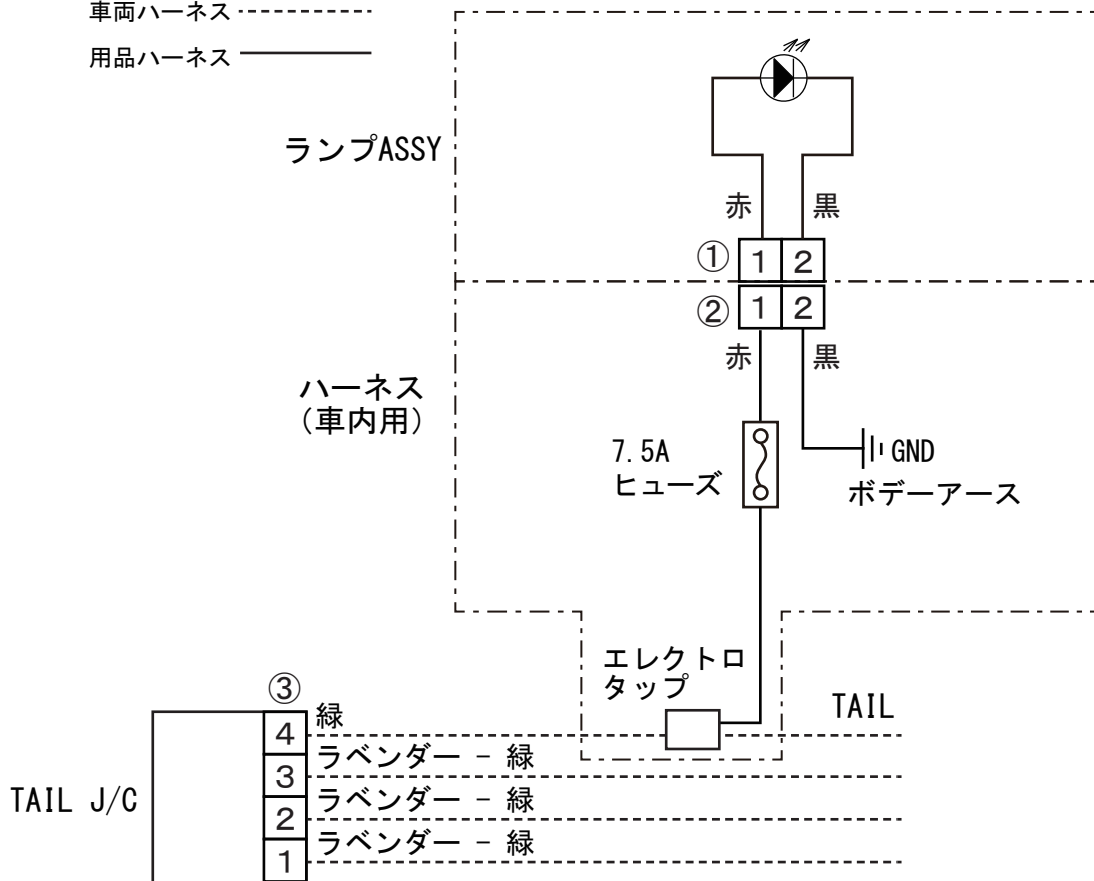
警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

配線図



※上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しております。(ロック上側)

車両ハーネス
 用品ハーネス —————



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント
 MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
 TEL:050-3161-1000
<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

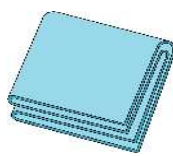


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

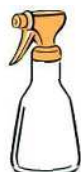
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

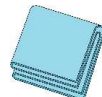
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



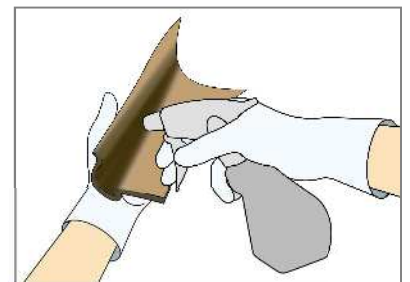
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET用ウエスにスプレーボトルを5cmほど離して、初回は10回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降はWETウエス表面が乾く前に追加で5回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

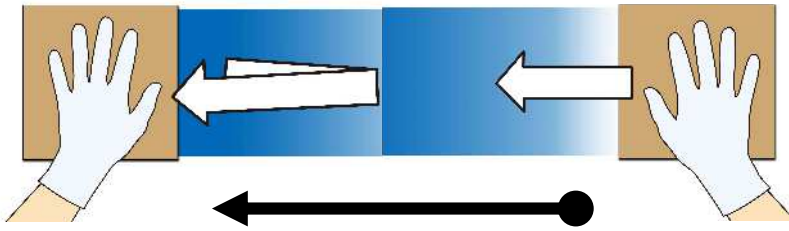
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

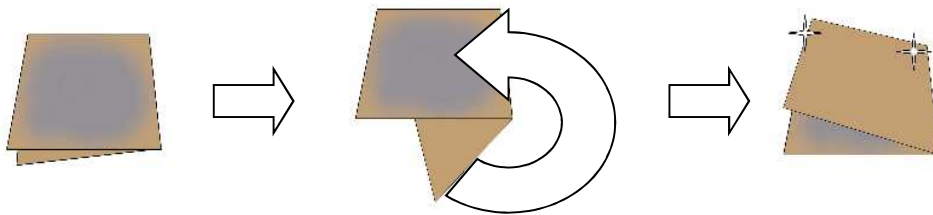
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。